

News Release



各 位

2005 年 4 月 12 日
株式会社アルバイトタイムス
(証券コード:2341)
(URL: <http://www.atimes.co.jp>)
代表取締役社長 鈴木 秀和

アルバイトタイムス、売上高 24%増、営業利益 38%増、

当期純利益 33%増と 2 期連続で過去最高を更新

『DOMO』売上高は 1.5 倍の 99 億円、首都圏版週 2 回発行が大きく貢献

無料求人情報誌『DOMO(ドーマ)』を編集・発行する株式会社アルバイトタイムス(本社:東京日本橋、代表:鈴木秀和、ジャスダック上場、コード:2341)は、当期(2005年2月期)業績が確定しましたのでお知らせいたします。

(財務諸表等、詳細な財務データについては、同日開示の「決算短信」をご参照下さい。)

■ 連結業績(2005年2月期)


連結通期業績

(百万円)

	05/2 期		04/2 期		前期比増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	比率
売上高	17,327	100.0%	13,957	100.0%	3,370	24.2%
営業利益	2,087	12.0%	1,515	10.9%	571	37.7%
経常利益	2,085	12.0%	1,512	10.8%	572	37.9%
当期純利益	1,172	6.8%	881	6.3%	290	33.0%
1 株当たり当期純利益	¥103.65		¥157.34			
1 株当たり配当金	¥31.00		¥14.00			

- (注) 1. 2004 年 2 月 29 日現在の株主に対して 1:2 の株式分割を行っています。
2. 期中平均発行済株式総数:2005 年 2 月期 11,309,453 株 2004 年 2 月期 5,603,564 株
3. 期末発行済株式総数:2005 年 2 月期 11,399,156 株 2004 年 2 月期 5,621,040 株

News Release

株式会社 アルバイトタイムス 

事業セグメント別通期業績

(百万円)

	05/2 期		04/2 期		前期比増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	比率
情報関連 売上高	11,733	100.0%	8,315	100.0%	3,417	41.1%
情報関連 営業利益	1,987	16.9%	1,409	16.9%	578	41.0%
人材関連 売上高	5,705	100.0%	5,793	100.0%	△88	△1.5%
人材関連 営業利益	99	1.7%	103	1.8%	△4	△4.0%
『DOMO』売上高	9,939		6,618		3,320	50.2%
人材派遣売上高	5,561		5,509		52	0.9%

(注) 『DOMO』売上高及び人材派遣売上高は内部取引消去後の売上高です。

連結業績は 2 期連続過去最高を更新

- 当期の連結業績は、売上高が前期比 24.2%増の 173 億 2 千 7 百万円、営業利益が同 37.7%増の 20 億 8 千 7 百万円、経常利益が同 37.9%増の 20 億 8 千 5 百万円、当期純利益が同 33.0%増の 11 億 7 千 2 百万円となり、2 期連続で過去最高を更新しました。
- 利益率の高い情報関連事業が大きく収益を拡大したため、連結ベースで営業利益率は前期比 1.1 ポイント上昇し 12.0%、経常利益率は 1.2 ポイント上昇し 12.0%、当期純利益率は 0.5 ポイント上昇し 6.8%となりました。

『DOMO』売上高は 5 割増の 99 億円

- 主力商品である無料求人情報誌『DOMO』の売上高は、前期比 50.2%増の 99 億 3 千 9 百万円となりました。2004 年 11 月より週 2 回に発行頻度を増やした首都圏版が牽引し、静岡 3 版以外(首都圏版・ヨコハマ版・名古屋版・大阪版の合計)の売上高が前期比 89.7%増の 53 億 5 千 7 百万円と大幅に増加したことによるものです。
- 2003 年 6 月に創刊した名古屋版は、当初計画を 1 年前倒し当期に黒字転換を果たしました。首都圏で得られた対有料誌の「勝ちパターン」を短期間で実現するという目標に向け、着実に市場浸透が図れています。

人材派遣売上高は横ばいの 55 億円

- 連結子会社ソシオが行っている人材派遣事業の売上高は、前期比 0.9%増の 55 億 6 千 1 百万円と、ほぼ横ばいとなりました。景気回復が人材の売り手市場化につながりスタッフの確保が困難になっているためです。

期末配当金は前期比で実質 4.4 倍に大幅拡充

- 当期の 1 株当たり期末配当金は 31 円とさせていただき予定です。2005 年 1 月に年間配当を連結当期純利益の 30%を目処に行う方針を決定し、利益配分率を従来の約 3 倍の水準に引き上げました。主力商品である『DOMO』への大規模な投資が一巡し、静岡以外の利益貢献度が上昇したため、株主還元の拡充が十分可能となりました。2004 年 2 月末の株主に対して 1:2 の株式分割を行っているため、実質的には前期比で 24 円増と大幅な増配です。

■ トピックス

- 2004 年 6 月、首都圏版(2001 年 7 月)・名古屋版(2003 年 6 月)に続き、『DOMO』大阪版を創刊しました。
- 2004 年 7 月、MBO 方式により、連結子会社ジョブカレッジ役員に対し、当社が保有する同子会社の株式(持分比率 51%)の全てを譲渡しました。
- 2004 年 9 月、求人情報サイト『DOMO NET』を開設しました。
- 2004 年 11 月、無料求人情報誌としては史上初となる週 2 回発行を『DOMO』首都圏版で開始しました。
- 2004 年 12 月、中古車情報誌『のるぞー』及び無料中古車情報誌『のるぞーF』を休刊し、中古車情報誌事業から撤退しました。
- 2005 年 2 月、静岡県内の正社員向け有料求人情報誌『JOB』を休刊し、2003 年 6 月に開設した『ESHIFT』に移行しました。

■ 代表取締役社長 鈴木秀和のコメント

当期(2005年2月期)は、『DOMO』の対有料誌の「勝ちパターン」に揺るぎはなく、景気回復という事業環境の追い風を受け先行投資を前倒しできたため、期初の見通し以上に成長を加速させることができた年でした。

2003年6月に創刊した『DOMO』名古屋版の売上高が前期比で4倍以上となり、当初計画を1年前倒し、通期黒字化を達成しました。名古屋に続いて2004年6月に創刊した大阪版は概ね順調に市場浸透しつつあります。

当期はさらに事業展開を前倒し、2004年11月に首都圏版の週2回発行を開始しました。売上高及び広告掲載件数が示すように、予想以上のスピードで読者及びクライアントへ浸透しつつあると手応えを感じています。

雇用の流動化、情報の無料化、人材サービス業の業容拡大といった当社を取り巻く事業環境は大きな変革期にあります。大きな変革の中には市場シェア構図の変化も予想されます。この大きなチャンス当社が手にすべく、今期(2006年2月期)より3年間で、すでにトップシェアである静岡に加え、首都圏・名古屋・大阪の3大都市においてもトップシェアを獲得することを目標に掲げ、必要な経営資源を積極的に投入していく方針を固めました。

トップシェアを獲得するためには、第一に商品力を決定付ける読者・ユーザーから今まで以上に「選ばれる」媒体になることが必要不可欠です。この3・4月に首都圏・静岡・名古屋・大阪において『DOMO』のブランディングを目的としたプロモーションを大々的に行っているのは新しい読者・ユーザーからも「選ばれる」ためです。

課題としては、対無料誌の「勝ちパターン」の確立と、インターネットへの本格対応と捉えています。対有料誌の勝敗が見えつつある中、今後は商品力での差別化が図りにくい無料誌との戦略を確立しなければなりません。『DOMO』千葉版は、すでに無料媒体が7割を占める市場に対して、後発ながらもどの程度のスピードでシェアを獲得できるかを見極める重要な試金石であると位置付けています。

また、インターネットというもう一つの無料媒体への対応も本格的に行っていく方針です。仕事を探す条件を特定できない、あるいは曖昧に複数持つ大半の非正社員にとっては、一覧性に優れた紙媒体の方が依然として有効であると考えておりますが、徐々にインターネットの有効性も認められつつあるため、無料誌と合わせてプロモーションを強化していきます。

引き続き期初の見通しを確実に達成し、株主・投資家の皆さまからより高い信頼を得られる企業を目指したいと思っております。

■ 連結業績見通し(2006年2月期)

『DOMO』の地域展開・市場浸透を加速

- 当期業績が示すように、成長の牽引役は引き続き『DOMO』であり、東京を中心とした大都市での成長が業績の拡大を支えています。そのため、今期(2006年2月期)においても、首都圏・名古屋・大阪での地域展開及び市場浸透を加速させていく方針です。
- 具体的には、2005年3月7日に千葉版を創刊したように地域展開を推進していく一方で、類似商品が増加しつつある既存展開地域において、読者・ユーザーからより「選ばれる」ため、上半期、特に年度の変わり目である3・4月に積極的なプロモーションを展開しています。


『DOMO NET』を本格的に強化

- 2004年9月に開設した求人情報サイト『DOMO NET』を今期より本格的に強化していく方針です。ユニークユーザー獲得のため、『DOMO』本誌及びインターネット上でのプロモーションを積極的に行う一方で、ユーザーを惹きつける魅力的な求人情報の確保を図るため、期間限定の掲載キャンペーンを戦略的に展開していく予定です。

3期連続過去最高を更新の見込み

- 『DOMO』千葉版の創刊や、首都圏・名古屋・大阪そしてインターネット上での積極的なプロモーションにより、今期の先行投資(営業赤字分)は10億円程度と見込んでおり、これらのお大半が中間期に集中するため、中間期の利益は前年同期比で半減する見込みです。
- 一方で週2回発行が通期で収益に寄与する首都圏版を中心に、『DOMO』が引き続き牽引役となり、3期連続で過去最高の業績となる見込みです。通期の連結業績予想としては、売上高が当期比11.0%増の192億3千8百万円、営業利益は24.8%増の26億4百万円、経常利益は24.3%増の25億9千2百万円、当期純利益は24.2%増の14億5千5百万円を見込んでいます。1株当たり配当金は13円を予想しています。

News Release

株式会社 アルバイトタイムス 

連結中間業績見通し

(百万円)

	06/2 期中間予想		05/2 中間期		前年同期比増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	比率
売上高	8,654	100.0%	8,308	100.0%	346	4.2%
営業利益	488	5.6%	1,036	12.5%	△547	△52.8%
経常利益	477	5.5%	1,039	12.5%	△561	△54.1%
中間純利益	283	3.3%	593	7.1%	△310	△52.3%
1株当たり中間純利益	¥8.28		¥52.71			

(注) 1. 2005年2月28日現在の株主に対して1:3の株式分割を行っています。

2. 期中平均発行済株式総数:2006年2月期中間 34,197,468株(予想) 2005年2月期中間 11,262,249株

3. 期末発行済株式総数:2006年2月期中間 34,197,468株(予想) 2005年2月期中間 11,309,956株

事業セグメント別中間業績見通し

(百万円)

	06/2 期中間予想		05/2 中間期		前年同期比増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	比率
情報関連 売上高	6,006	100.0%	5,397	100.0%	609	11.3%
情報関連 営業利益	479	8.0%	975	18.1%	△496	△50.9%
人材関連 売上高	2,692	100.0%	2,971	100.0%	△279	△9.4%
人材関連 営業利益	9	0.3%	60	2.0%	△51	△84.6%
『DOMO』売上高	5,479		4,508		970	21.5%
人材派遣売上高	2,645		2,885		△239	△8.3%

(注) 『DOMO』売上高及び人材派遣売上高は内部取引消去後の売上高です。

連結通期業績見通し

(百万円)

	06/2 期予想		05/2 期		前期比増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	比率
売上高	19,238	100.0%	17,327	100.0%	1,911	11.0%
営業利益	2,604	13.5%	2,087	12.0%	516	24.8%
経常利益	2,592	13.5%	2,085	12.0%	507	24.3%
当期純利益	1,455	7.6%	1,172	6.8%	283	24.2%
1株当たり当期純利益	¥42.56		¥103.65			
1株当たり配当金	¥13.00		¥31.00			

(注) 1. 2005年2月28日現在の株主に対して1:3の株式分割を行っています。

2. 期中平均発行済株式総数:2006年2月期 34,197,468株(予想) 2005年2月期 11,309,453株

3. 期末発行済株式総数:2006年2月期 34,197,468株(予想) 2005年2月期 11,399,156株

事業セグメント別通期業績見通し

(百万円)

	06/2 期予想		05/2 期		前期比増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	比率
情報関連 売上高	13,932	100.0%	11,733	100.0%	2,198	18.7%
情報関連 営業利益	2,581	18.5%	1,987	16.9%	593	29.9%
人材関連 売上高	5,395	100.0%	5,705	100.0%	△309	△5.4%
人材関連 営業利益	22	0.4%	99	1.7%	△76	△76.9%
『DOMO』売上高	12,715		9,939		2,776	27.9%
人材派遣売上高	5,292		5,561		△268	△4.8%


(注) 『DOMO』売上高及び人材派遣売上高は内部取引消去後の売上高です。

■ 免責事項

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ(株式会社アルバイトタイムス及びその子会社・関連会社;以下「当社グループ」)の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。

News Release

株式会社 **アルバイトタイムス** 

■ 株式会社アルバイトタイムスについて

無料求人情報誌『DOMO』を全国展開する求人広告業界のリーディングカンパニー。無料求人誌としては史上初の週 2 回発行に踏み切った首都圏版をはじめ、名古屋版及び大阪版の順調な展開により、主要都市での市場浸透度を着実に高めています。さらに、主要都市の周辺地域への進出も視野に入れ、2005 年 3 月には千葉版を創刊しました。「雇用の流動化」と「情報の無料化」をキーワードに、求職者と求人企業の多様なニーズに応えながら、さらなる成長を目指しています。

<http://www.atimes.co.jp/>

■ お問い合わせ先

株式会社アルバイトタイムス

総務部 広報・IR 担当 高橋徹弥

E-mail: tetsutaka@atimes.co.jp

TEL: 03-5202-2255

FAX: 03-5202-2300

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-1-14 日本橋加藤ビルディング

#